

目標7

住民と行政がともに考え、 ともにつくる信頼のまち

「目標7 住民と行政がともに考え、
ともにつくる信頼のまち」についてであ
ります。

コミュニティにつきましては、引き続
き、町職員と地区とのさらなる関係強
化を進めるとともに、外部講師を招いて
の自治会に関する講演会や地域コミュニ
ティに関する啓発も行ってまいります。

DXの推進につきましては、DX推進
計画に基づき、町民の皆様の利便性向上
を目的とした、行政手続のオンライン化
を推進してまいります。子育て・介護分
野の手続を中心に、マイナンバーカード
を利用したオンライン申請を可能にする
ための環境を整えるとともに、住民票や
税務証明書等をキャッシュレスで取得で
きる環境も整備してまいります。

協働のまちづくりにつきましては、協
働フォーラム「とよやまの森」を開催
してまいります。所属・ジャンルの垣根
を越えて団体同士の交流機会を図ると
ともに、ボランティアやNPOなどの自主
的な活動が進むよう、住民活動の支援を
図ってまいります。

子ども目線で新たな発見や魅力を発信
する「子ども記者プロジェクト」を、令
和5年度も継続してまいります。取材や
記事を書く体験を通して、主体的に学ば
ず力や聞く力、伝える力を育み、将来の豊
山町を担う子どもたちの育成を図ってま

いります。

子ども議会につきましても、引き続き
実施してまいります。議会での質問を通
じて、地域や社会に関心を深め、主体性
と豊山への愛着と誇りを持てる子どもた
ちの育成を図ってまいります。

令和2年度からスタートしました第5
次総合計画の後期基本計画の策定に着手
してまいります。策定期間は、令和5、
6年度の2か年で、令和5年度につきま
しては、前期基本計画の評価・分析と主
要課題の検討を進めてまいります。

職員の派遣につきましては、職員の意
識改革と人材育成を図るため、愛知県
総務局市町村課及び公益財団法人愛知

結びに

昨年5月、町制施行50周年を記念し、
未来への木づかいとして5本のハナノ
キを植樹しました。飛行機の歴史や飛
行の原理に登場する、プロペラのような
な実であるハナノキの「翼果」は、ヘ
リコプターとの異名を持ち、種子にあ
るプロペラ状の「翼果」が回転し竜巻
のような渦を動力とすることで数キロ
メートル先まではばたきます。厳しい
冬を乗り越え、春の到来を告げるよう
に紅く色づくハナノキは、「ヒコーキ
のまち豊山」にぴったりの木でござい
ます。

令和4年4月、豊山町は50周年を迎
え、未来への第一歩を力強く踏み出

県市町村振興協会への職員派遣を継続し
てまいります。また、「基幹的広域防災
拠点」の整備につきまして、引き続き、
愛知県との連携を図るため、愛知県防災
安全局への職員派遣も継続してまいりま
す。令和5年度は、社会福祉法人西春日
井福祉会へ新たに職員を派遣してまい
ります。

しました。振り返りますと、戦後初の
国産旅客機YS-11が当時の名古屋飛
行場から初飛行を遂げて早60年。名古
屋飛行場は県営名古屋空港として中部
の空の玄関口を経て、豊山町は「ヒ
コーキのまち」とともに今日まで発展
してまいりました。

町制51年目、ここ豊山に中部圏初と
なる「基幹的広域防災拠点」や「避難
所・賑わい施設」の整備に向け全力で
取り組んでいるところでございます。
カーボンニュートラルやデジタル化な
ど、多様化・複雑化する社会的課題に
より私たちの生活は日々変化しており
ますが、「私たちのまちは、私たちが
育てる」とする町民主体のまちづくり

を推進し、町民の皆様が笑顔で元氣
に過ごすことのできるまちづくりを
目指してまいります。

子どもからお年寄りまでの誰もが大
切にされ、人・暮らし・産業のキラリ
と輝く豊山が「雲外蒼大」の如く次代
に大きくはばたいいていけるよう、わが
まちの可能性を信じ、職員一丸となっ
て取り組んでまいれる所存でございま
す。

今後とも、皆様のご理解とご協力を
改めお願い申し上げます、私の令和5年
度に向けた所信の表明を、閉じさせて
いただきます。



▲子ども記者プロジェクト